

地域とつながる チームオレンジを目指して ～チームフラワーヴィラの取り組み～

深谷市 長寿福祉課 名取 ひろ子

社会福祉法人 花園公益会
フラワーヴィラ 岩田 知子



0. 高齢者を取り巻く深谷市の状況



0. 高齢者を取り巻く深谷市の状況

介護保険事業：

大里広域市町村圏組合

(熊谷市、深谷市、寄居町で組む、一部事務組合)で運営している。

地域支援事業は、各構成市町が実施している。



熊谷市



深谷市



寄居町

0. 高齢者を取り巻く深谷市の状況

■人口 141,855人
うち高齢者人口 42,396人
■高齢化率 29.9%

■地域包括支援センター 6か所 ※委託
・認知症地域支援推進員
・第2層生活支援コーディネーター

■認知症初期集中支援チーム 1チーム

■第1層生活支援コーディネーター 1人
※社協委託

■オレンジカフェ 9か所 (5か所休止中)

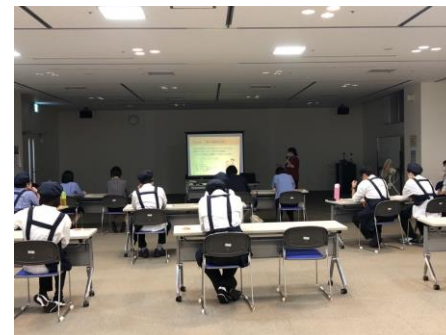
■住民主体の通いの場 27か所



(資料)大里広域市町村圏組合 日常生活圏域の状況 2022年4月1日時点

1. 認知症サポーター養成状況

	H18～H30	R1	R2	R3
開催回数(回)	216	23	12	7
受講者実人数(人)	8,211	1,160	355	199
累積養成者数(人)	8,211	9,371	9,726	9,925



2. チームオレンジの立ち上げ経緯

■あるべき姿

- ・認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくりをすすめるため、認知症に対する正しい理解の普及と認知症予防に関する取り組みを推進するとともに、地域における見守りを充実させる。
- ・認知症の疑いがある人に早期に気づき、本人が安心して暮らせるよう支援するため、地域の関係機関との連携を図る。

■現状

- ・認知症サポーター養成講座の開催支援をしているが、サポーター数を増やすことが目的になっている。
- ・認知症地域支援推進員による多資源のネットワーク作りが不足している。

■課題

- ・認知症サポーターが実際の活動につなげられる仕組みがない。
 - ・認知症サポーターの活動を把握していない。
- ※フラワーヴィラの活動

■まず取り組むこと

- ・認知症サポーターの復習を兼ねた学習機会を設け、座学だけではなくサポーター同士の発表・討議を含めた、より実際の活動につなげるための講座の開催。
- ・認知症サポーター養成講座を受講した団体等の活動を把握し、ステップアップ講座に参加してもらう。

ステップアップ講座の開催



チームオレンジ登録

3.認知症サポーターステッパップ講座

(1)講義

チームオレンジによる支え合いの地域共生社会をつくろう

- ◆ ステッパップ講座の目的
- ◆ 認知症の理解(埼玉県版テキスト)
対応方法と声掛け方 配慮ある声掛けとは？



(2)グループワーク

- ◆ 認知症サポーターとして活動していること)
- ◆ 認知症の当事者
もしも、自分だったらしてほしいことは・・・
- ◆ 自分の住む地域の中での、地域資源を確認
- ◆ 地域活動報告(DVD視聴)



4. 今後の取り組み

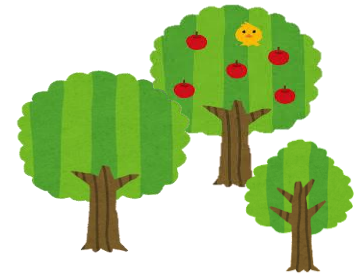
●地域で支える仕組みづくり

地縁組織や住民活動団体などに向けて、認知症の理解促進を努めるとともに、認知症サポーターを増やし、当事者が安心して過ごせ、地域で支えられる仕組みづくりを目指します。

- ・自治会 ・民生委員 ・老人クラブ ・介護予防サポーター
- ・各種サークル団体 ・ボランティア団体 など

●チームオレンジの構築

認知症サポーターの活動を支援するとともに、ステップアップ講座を開催し、チームオレンジの構築を目指します。



●認知症の早期発見・早期対応

認知症の早期発見・早期対応につながるよう、様々なネットワークを活用する。

- ・地域包括支援センター
- ・認知症地域支援推進員
- ・生活支援コーディネーター
- ・地域ケア会議
- ・認知症初期集中支援チーム
- ・オレンジカフェ
- ・一般介護予防(元気ふっかつ教室、住民主体の通いの場)など

**深谷市は連携・連動
＝を深めていきます。**

5. 深谷市で認定したチームオレンジ



深谷市チームオレンジ第1号

フラワーヴィラオレンジチーム

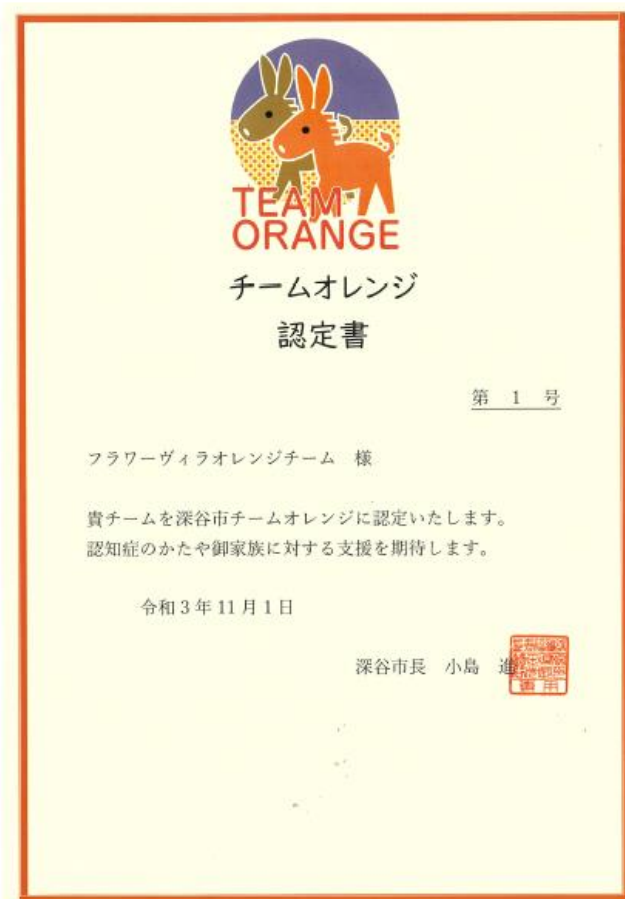
【活動内容】

認知症カフェの運営、体操教室のサポート、見守り、話し相手など

【チームメンバー数】 15名(当事者含む)

【支援内容】

認知症の方に対して、チーム員でさりげなく声を掛けるなど工夫し、自分がボランティアをして活動していると意識できるようにしている。また、チーム員全員で定期的に認知症のかたの理解と勉強会(「こんなことがありました。」等)対応方法を共有しあう機会を時々作っている。



チームオレンジ

フラワーヴィラと地域の関わりか
ら


31年

社会福祉法人 花園公益会
フラワーヴィラ 岩田知子

特別養護老人ホームフラワーヴィラ開設：H3年7月
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）開設：H12年5月

小規模多機能型居宅介護事業所開設：H20年1月
花園公益会介護保険事業（6事業所）深谷市配食サービス委託

(1) ボランティアの歴史

 平成3年10月


フラワーヴィラボランティアチーム

さつき会（6名のメンバー）からスタート

地域の家庭介護者の集まり（何かしたいの声から）

 平成26年5月オレンジカフェ開催

 平成27年5月地域のお茶の間（深谷市福祉政策課事業認定）

 令和元年6月花園テラスカフェオープン（ボランティア運営）

(1) ボランティアの歴史

- 実は、フラワーヴィラでは、31年まえからすでにチームはできていました。
そして、ボランティア同士の繋がりから仲間づくりが始まっていました～

☆支えあいの地域づくりは、今更ではなくできていました。

- フラワーヴィラのボランティアの歴史は長く、開設（H3）さつき会が当初6名からスタートする、現在は1名のメンバーがチームオレンジに参加

🌻 チームづくりとボランティア同士の繋がり、認知症（当時痴呆）の介護の不安から・・・

- 発足当初のボランティアの方々が、認知症のことを知りたい！（当時は痴呆症）という声が多くあり、認知症のことをより理解してもらうために、ボランティア全員に毎年、講座を実施していた。現在の認知症サポーター養成講座。この講座は毎年継続受講してもらっている。

（チームオレンジ以外のボランティアも活動している。活動チームは、畑・園芸その他）ボランティアとして、協力を惜しまない！

地域性（旧花園町）の風土として・介護のこと知りたい！何か手伝いたい～の声が多数！



深谷市キャラクター
ふっかちゃん

(2) チームオレンジの活動紹介



現在のカフェを含む活動は、コロナ禍で時間短縮と休業中・・・

☀️ そんな中でも、チームオレンジは活動中～

すでに活動しているボランティアには・・・？ チームオレンジってなに？
といわれるが・・・

実際には、ボランティアのチームづくりがすでに出来上がっており、
オレンジカフェや、テラスカフェなどで、活動している。

☀️ カフェは、利用者・ボランティアも立ち位置は一緒に、垣根はない。

なので！ テラスカフェは、カフェの利用者全体がチームオレンジといえる。

☀️ 特にテラスカフェ（現在は「水」のみ開催）完全ボランティア主体で運営
している。カフェに必要な物資、集計・清掃など、全て任せている。

フラワーヴィラの地域活動

近隣障
害者施
設より
参加

認知症の人と
家族の会

健康いちばん組

対象：深谷市旧花園地区
開催日：毎週月曜日
時間：14：00～15：00（その時々で延長あり）
参加：申し込み（TEL）
場所：在宅支援センターor花園テラス2階
担当：フラワーヴィラ職員（保健師・介護福祉士）・地域ボランティア3名

いきいき元気教室
（深谷市委託事業）

対象：市広報で募集（65歳以上）
開催日：毎週月曜日（水曜日もあり）
時間：14：00～15：30
参加：申し込み（TEL）
場所：在宅支援センターor花園テラス2階
担当：保健師・介護福祉士・外部講師
※修了証あり

オレンジカフェ

対象：深谷市内
開催日：月末最終日曜日
時間：10：00～13：00（現在10：00～11：00）
参加：自由
場所：フラワーヴィラかぐや姫
担当ボランティア：8名

チームボランティア

- ①元公務員（リーダー）
- ②元公務員（民生委員経験者）
- ③元民生委員
- ④民生委員現職
- ⑤元小学校さわやか相談員
- ⑥生活ホーム世話人
- ⑦マッサージ師
- ⑧福祉委員
- ⑨当事者4名

深谷市事業

全体統括

フラワーヴィラ施設職員
地域支援課（保健師）

定期的な認知症サポーター養成講座開催（年1回）
（ボランティアは必ず受講）

花園テラスカフェ

対象：誰でも
開催日：毎週月・木（現在水）
時間：13：00～16：30
参加：自由
場所：花園テラス2階
担当：地域ボランティア8名

地域のお茶の間
（深谷市福祉政策課事業）

対象：誰でも
開催日：毎週木曜日
時間：14：00～15：30
参加：自由
場所：フラワーヴィラかぐや姫
担当：なし
※地域交流スペースとしての開放

番外編

そして、最近よくある質問と疑問??

☀️ チームオレンジの活動とは・・・どのような活動??

☀️ チーム員はどのような人達（メンバー構成は？）
どうすれば参加できる？

☀️ チーム員との連携・認知症の人（当事者）との関わりか
たは？・・・私にできる??

☀️ 資格はいりますか？チームオレンジに入るのには？



現在のチーム員は殆どが近隣のかた

- ①前民生委員 (2)
 - ②看護師・保健師 (2)
 - ③前公務員 (2)
 - ④前さわやか相談員 (1)
 - ⑤主婦 (前福祉委員) (1)
 - ⑥障害施設職員 (1)
 - ⑦当事者ご夫妻・MCI (3組)
 - ⑧会社員 (2)
 - ⑨前自治会長 (1)
 - ⑩マッサージ師 (1)
- ※平均年齢約：68歳 (高齢化が課題)



チーム員との連携・当事者との関わりかたは？

 チーム員との連携については、

- ・ チーム員の参加は自由（認知症サポーター養成講座受講と認知症の理解）
基本ボランティアなので参加日の決まりはないが、ボランティアとしての登録をお願いします。（強制ではない）

・ 何処の活動に参加するのか？

一人でいくつものカフェやボランティアとして参加は自由、ただし、全ての活動の個人情報を守ることを約束としている。

また、チーム員全員で集合は必要があれば声をかけて集まってもらうが、基本仕事ではないので、全員集合は必要ない？かとも思っている

◇ 当事者参加が多くなっていますが、特にチーム員もカフェ参加者もそのことに触れることなく、参加を楽しんでいる。あまり意識はない。

（当事者で時々心配な行動が発生した時には、看護師・保健師がさりげなく対応していることもある。チーム員にも当事者参加については情報提供）



チームオレンジは特別なことはありません！

- 参加者も、メンバーも全員がチームオレンジです！楽しんで過ごす時間のお手伝いです。

活動はボランティア・・・・・・・・

でも・・・・・・・・自分も楽しむ、垣根を作らない居場所・・・・・・・・

- チーム員の当事者にも無理なく普通に役割を持ってもらうことは基本！特別扱いはしない。

※ そのためには、参加者みんなが認知症の理解をする機会をもつ（年1回の認サポ講座・認知症の勉強会など実施）

資格はいりませんか？チームオレンジに入るのには？

- 何かお手伝いをしたい、ボランティア活動に参加したいが・・・「資格がない」から・・・？チームに入れないという問い合わせ？

◇最初から「チームオレンジに入りませんか？」は無い。

出来ることを手伝ってもらいながら仲間になっていく。

特に当カフェは、認知症の当事者も参加する旨を理解して頂き
認知症サポーターの受講を勧めたり、カフェでも年1回の受講
があることを伝える。

- ◇認知症サポーター養成講座受講とステップアップ講座を受講することを条件にしています（深谷市/R3実施）



(3) 今後の取り組み (課題)

🌻 チームオレンジとしての活動は安定しており、チーム員の関係性もとても良い、嬉しい悲鳴かもしれないが！チーム員が増えているので、オレンジカフェ・花園テラスカフェなど以外

の休止中の活動も始めていきたい。

併せて、ステップアップ講座を早期に開催してほしい。

🌻 認知症の方、当事者の利用者が増えつつあることから、チーム員もある程度は（認知症）理解できてはいるが、ボランティアは専門職ではないので、カフェでの当事者の行動についてどこまで関わればよいのか？も課題となっている。

最後に・・・まとめ

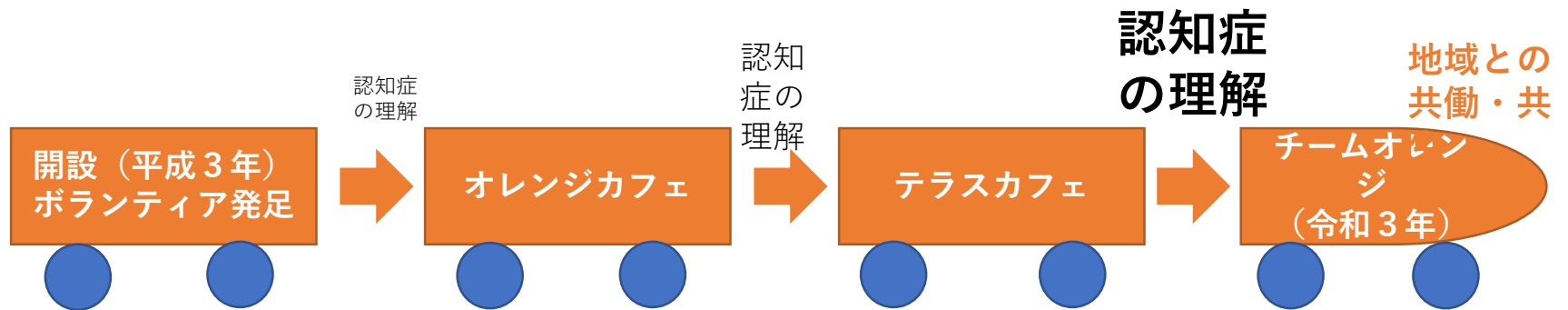
フラワーヴィラチームオレンジは、地域の中で育ち地域とともに認知症の理解に努めてきました。

🌀 3 1年間、地域の中で、地域とボランティアに支えられてきました。

チームはつくるものですが、最初から同じ方向性には向かえない！

悩み、困ったことがあるからこそ！その目的に向かう仲間ができる。

地域ぐるみで・・・自分たちで・・・居心地良く過ごせる場所づくりを・・・



では、最後にフラワーヴィラチームオレンジカフェの様子をご覧ください

🌻 ご清聴ありがとうございました 🌻

